



芦北町議会だより

うたせ

第81号

令和7年
8月5日発行



御立岬海水浴場

- 令和7年6月定例会・臨時会 P2
- 令和7年度一般会計補正予算 P3
- 一般質問 P4~5
- 議案の審議結果 P6
- 議員定数を削減する条例を全会一致で可決 P7
- 議会のうごき・ちょっといっぷく P8

令和7年6月定例会・臨時会



6月定例会が6月12日に招集され、16日までの5日間の会期で開催しました。最終日16日には、2人の議員が登壇し、町政全般にわたり一般質問を行いました。

上程された議案は、専決処分の承認3件、一般会計の継続費繰越計算書などの報告5件、令和7年度一般会計補正予算と特別会計補正予算合わせて4件、芦北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定など条例改正等が4件、人事案件の同意及び諮問が各1件、議員発議が2件の計20件が上程され、すべて原案のとおり全会一致で可決しました。

また、7月22日に臨時会が招集され、令和7年度一般会計補正予算1件と人事案件（副町長の選任につき同意を求めることについて）の2議案を審議の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。

（一般質問の内容は4～5ページに、議案の内容と結果は6ページに掲載）

芦北町税務課長
内田照也氏
うちだ てるや

固定資産評価員の
選任に同意

櫻井優一氏（高岡）
さくらい ゆういち
【2期目】

人権擁護委員に推薦



議場で就任のあいさつをする松本副町長

松本俊造氏（花岡西）
まつもと しゅんぞう

副町長の選任に同意

令和7年度一般会計補正予算

(第1号) 専決承認、(第2号) 議決

歳入・歳出 **1億5,977万円 追加**

一般会計総額 **124億5,977万円**

主な事業

◎ 定額減税不足額給付金	7,560万円
・ 令和6年度実施の定額減税調整給付金に不足が生じた方への給付金	
◎ 避難所管理備品購入費	3,196万円
・ 避難所環境充実のため簡易トイレ・簡易ベッド等を購入	
◎ 防災倉庫設置工事	1,002万円
・ 備品格納用倉庫設置工事費	
◎ 施設修繕料（佐敷中学校屋上防水等）専決承認分	783万円
・ 佐敷中学校屋上防水シート剥離に伴う雨漏り防止修繕等	
◎ サテライトオフィス田浦備品購入費	750万円
・ サテライトオフィスに整備する備品の購入費	
◎ 移住支援金	500万円
・ 東京等からの移住世帯に対する支援金	
◎ 修繕料（御立岬公園費）	451万円
・ 経年劣化に伴う御立岬温泉センターろ過機取替修繕	
◎ 住宅耐震化事業補助金	212万円
・ 相談件数の増加に伴う補助金予算の増額	

一般質問(要約)

肥薩おれんじ鉄道を みんなで支援しよう!



楠原清照議員

(表1) 肥薩おれんじ鉄道の概要

【開業】平成16年度(2004年度)	【営業区間】116.9km(八代駅～川内駅)
【資本金】15億6,000万円(①日本貨物鉄道1億円・②熊本県分7億3,000万円<県6億2,050万円・沿線自治体1億950万円>)・③鹿児島県分7億3,000万円<県6億2,050万円・沿線自治体1億950万円>)※芦北町出資金1,325万円	
【利用者数】(全体)H16年度188万人 R2年度80万人 R6年度103万人 ※佐敷駅 R5年度17万1,800人(うち通勤通学定期利用者14万2,200人)	
【運賃収入】(全体)H16年度(初年度)5億2,400万円 R6年度 3億5,000万円	
【経営ビジョン】中期経営計画により経常損益の黒字化を目指す・重点施策(定期外利用拡大・修繕計画見直し・維持管理コストの抑制等)	
【町等の支援】運行支援補助金・芦北高校生徒定期券補助・各種イベント人的支援・鉄道時刻表に合わせたツクールバスの運行ダイヤ設定 ※沿線自治体肥薩おれんじ鉄道沿線活性化協議会支援(スクールトレイン事業・シャトルバス運行事業等)	
【佐敷駅前周辺整備】(これまで)駐輪場・通路橋整備(これから)関係機関と連携し総合的に検討	

(要望事項)

- ①町民は1年に1回おれんじ鉄道に乗って応援しよう!
- ②エリアマネジメント手法で佐敷駅前の魅力アップを!
- ③駐輪場に屋根の設置を! ④トイレの整備存続を!



肥薩おれんじ鉄道

答

竹崎町長

質

肥薩おれんじ鉄道の現状と佐敷駅前周辺整備について問う。

官民一体で佐敷駅前の更なる整備促進を!

答

田代企画財政課長

表1のとおり。

鉄道を含む公共交通網は国の基幹をなすものと認識している。

(表2) 子育て支援の概要

【0歳～18歳までの人口】1,739人(R7.5.29現在)
【役場組織再編強化】本年4月1日、福祉課を健康福祉課に再編。「こども家庭センター」を設置し、母子保健・児童福祉両機能の連携・協働を図る。
【窓口のワンストップ対応】子育て支援の窓口を一本化し住民サービスの向上を図る。
【産後ケア事業の充実】委託先7か所(水俣市総合医療センター1・八代市内医療機関2・助産院4)で対応。「宿泊型」「通所型」に加え「訪問型」を追加
【芦北町こども計画の策定】(方針)こども・子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく支援する。各課のこども分野に関する施策・事業を取りまとめ連携を強化し役場全庁を挙げて取り組む。

(要望事項)

- ①こども第一の施策の継続を!
- ②産後ケア事業における民間事業者との更なる連携と活用を!
- ③子育て応援券発行等更なる施策の強化検討を!

答

竹崎町長

質

子育て支援対策について問う。

わが町の理念「すべては次代を担う子どもたちのために」の更なる施策の推進を!

答

池田健康福祉課長

表2のとおり。

これまでも国に先駆けて各種施策を行ってきたが、本年3月に「芦北町こども計画」を策定し更なる子育て支援の充実に取り組む。



川尻成美議員

一般質問(要約)

国の物価高騰対策臨時 交付金の活用について！

質

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が本町にも交付されていると思うが、この交付額は総額いくらか。また、その交付金を活用した本町の事業について具体的に説明を。

答

田代企画財政課長

この交付金は令和5年度から始まり、2億3,589万円、令和6年度が3億4,007万円を受け入れている。

令和5年度は、住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯へ1世帯10万円、子育て世帯18歳以下の子ども1人に対して5万円を追加給付している。また、令和6年度は新たに非課税世帯に1世帯3万円、子育て世帯1人2万円を追加給付している。

質

町単独での物価高騰対策はあるのか。

答

田代企画財政課長

令和5年度ではキャッシュレス決済ポイント還元事業や物価高騰分の保育所等への上乘せ補助が町独自の事業である。

る。また、キャッシュレス決済ポイントの繰越分も町独自の事業である。

本町における第一次産業の復興について！

質

芦北町総合計画に第一次産業の復興で示されている農業の振興及び漁業の振興の施策について具体的に説明を。特に漁業の振興については、大変厳しい状況である。対応策はどう考えているのか。

答

竹崎町長

県や漁協をはじめ、農林漁業振興懇話会において、各種団体の参画を得て、町の施策に対する意見交換を行い、提言等については、施策に反映させるよう取り組んでいる。

答

福田農林水産課長

農業の振興では、新たな担い手の確保対策として、就農・定着までの切れ目ない支援を行っている。また、漁業の振興では、ガザミ・ヒラメ等の放流事業を行い水産資源の維持・回復を図っている。

質

漁業の衰退が進んでいる。国や県の政策を活用して生産性の上がる事業展開にならないものか。町長の考えを。

答

竹崎町長

県などと連携して取り組んでいるカキの養殖やアサリの資源回復は成功しつつあり、期待が持てる有望な分野である。しっかりと力を入れて目指す形に持っていきたい。



アサリ漁場



収穫されたアサリ

令和7年 第3回芦北町議会（6月定例会） 審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
承認第1号 承認第2号 承認第3号	専決処分の承認を求めることについて ・ 芦北町税条例の一部を改正する条例の制定について ・ 芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について ・ 令和7年度芦北町一般会計補正予算（第1号）	—	承認
報告第1号	継続費繰越計算書について	地方自治法施行令第145条第1項の規定による報告	—
報告第2号	繰越明許費繰越計算書について	地方自治法施行令第146条第2項の規定による報告	—
報告第3号	下水道事業会計の繰越計算書について	地方公営企業法第26条第3項の規定による報告	—
報告第4号	有限会社あしきたマリンサービスの経営状況の報告について	地方自治法第243条の3第2項の規定による報告	—
報告第5号	有限会社御立岬の経営状況の報告について		—
議案第27号	令和7年度芦北町一般会計補正予算（第2号）	概要等は、P3に一部掲載	可 決 （ 全 会 一 致 ）
議案第28号	令和7年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第29号	令和7年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第30号	令和7年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第31号	芦北町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	自動交付機を撤去し、多機能端末機を導入するための改正	
議案第32号	芦北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	多機能端末機による証明書交付利用促進のための改正	
議案第33号	芦北町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	保険医療機関等に支払うべき額の審査等の事務を社会報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会に委託するための改正	
議案第34号	和解及び損害賠償額の決定について	議会の議決に付すことなく和解及び損害賠償の額を決定していたため	
同意第1号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	委員の選任に同意	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任者と認定	
発議第1号	芦北町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	議員定数を14人から12人に改正	可 決 （ 全 会 一 致 ）
発議第2号	専決処分事項の指定について	相手方の速やかな救済を目的に1件100万円以下の和解及び損害賠償額の決定を町長が専決処分することができる事項として指定するため	

議員定数を2人削減する条例を全会一致で可決 (14人から12人へ)

令和6年6月から全員協議会で議論を重ねてきた議員定数について、令和7年6月の全員協議会にて、全会一致で2人削減を決定、令和7年第3回定例会において議員自ら発議し、全会一致で可決しました。

※発議理由…現在の社会情勢及び本町の財政等を総合的に踏まえ、次期改選時からの議員定数を2人減とするため。

田浦町・芦北町2町合併以降の議員定数変遷

平成17年1月1日から

議員定数 30人 (2町合併による1年3ヶ月の在任特例)



平成18年3月の選挙から

議員定数 22人 (合併による在任特例終了)



平成22年3月の選挙から

議員定数 16人 (平成21年第2回定例会で可決)



令和4年3月の選挙から

議員定数 14人 (令和3年第3回定例会で可決)



次回 令和8年3月の選挙から

議員定数 12人 (令和7年第3回定例会で可決)



議場で退任のあいさつをする藤崎副町長(手前)

令和7年6月16日付けで、任期満了に伴い、藤崎副町長が退任されました。

平成21年6月から芦北町副町長として、4期16年の長きにわたり、町政発展のために多大なるご尽力を頂きました。心から御礼申し上げます。

今後はご自愛いただき、ますますのご健勝とご多幸をお祈りいたします。

： 議会のうごき ：

- 令和7年4月24日(木) 県町村議会議長会県知事・県議会への要望活動(熊本県庁)
 5月23日(金) 県町村議会議長会第1回理事会(自治会館)
 27日(火) 町村議会議長・副議長研修会(東京国際フォーラム)
 28日(水) 熊本県関係国会議員への要望活動(ホテルグランドアーク半蔵門)
 6月 3日(火) 町村議会議長研修会、県町村議会議長会臨時総会(ホテル熊本テルサ)
 6日(金) 議会運営委員会、全員協議会
 12日(木) 第3回定例会開会(議案審議)
 16日(月) 第3回定例会閉会(一般質問)、議会広報委員会
 7月 8日(火) 議会広報委員会
 22日(火) 議会運営委員会、第4回臨時会
 町村議会常任委員長・副委員長研修会(オンライン)

次の定例会は
9月開催予定
です!!

議会の会議録は、芦北町ホームページに掲載しております。

議会広報委員会

委員長	委員	副委員長	委員
楠原 清照	長口 成美	川尻 秀行	宮本 順一
林田 耀宏	寺本 順一	宮本 順一	寺本 順一

今年の梅雨は、沖縄地方より南九州地方が早く梅雨入りするという特異な梅雨でしたが、驚いたことに最後の仕上げは6月27日に早々と梅雨明け宣言というこれまた特異な結末です。令和2年7月豪雨災害を思い出すと、早い梅雨明け宣言にホッとすする気持ちと心の安堵感を覚えます。

豪雨災害から5年が経過して、復旧・復興事業も90数パーセント完了し令和7年度には全て終了します。創造的復旧・復興事業の成果として、活気あふれる町づくりが進展するよう議会は中心になって活動いたします。

その活動の様子を読み易い紙面として、皆さんに手に取って読んでいただける広報紙になるよう広報委員一同研鑽いたしますので、どうぞよろしく願います。

(長口 隆)

